

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】令和3年10月7日(2021.10.7)

【公開番号】特開2020-107375(P2020-107375A)

【公開日】令和2年7月9日(2020.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2020-027

【出願番号】特願2018-244893(P2018-244893)

【国際特許分類】

G 11 B 5/596 (2006.01)

G 11 B 21/10 (2006.01)

【F I】

G 11 B 5/596

G 11 B 21/10 J

G 11 B 21/10 E

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月26日(2021.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のサーボデータを有するディスクと、

前記ディスクに対してデータをライトするライトヘッドと、前記ディスクからデータをリードする第1リードヘッド及び第2リードヘッドとを有するヘッドと、

前記ディスクの前記複数のサーボデータの間に位置するライトデータを前記第1リードヘッドでリードした第1信号と前記第1リードヘッドから前記ディスクの半径方向に離間した前記第2リードヘッドで前記ライトデータをリードした第2信号とに基づいて前記ヘッドを位置決めする、コントローラと、を備える磁気ディスク装置。

【請求項2】

前記コントローラは、前記第1信号の大きさと前記第2信号の大きさとに基づいて前記ヘッドを位置決めする、請求項1に記載の磁気ディスク装置。

【請求項3】

前記コントローラは、前記第1信号の大きさが減少し、前記第2信号の大きさが増大している場合、前記半径方向において前記第1リードヘッドから前記第2リードヘッドへ向かう第1方向に前記ヘッドをずらす、請求項2に記載の磁気ディスク装置。

【請求項4】

前記コントローラは、前記第1信号の大きさが減少し、前記第2信号の大きさが減少している場合、前記半径方向において前記第2リードヘッドから前記第1リードヘッドへ向かう第2方向に前記ヘッドをずらす、請求項2に記載の磁気ディスク装置。

【請求項5】

前記コントローラは、前記第1信号をフーリエ変換して前記第1信号の大きさを検出し、前記第2信号をフーリエ変換して前記第2信号の大きさを検出する、請求項2乃至4のいずれか1項に記載の磁気ディスク装置。

【請求項6】

前記コントローラは、前記第1信号の第1振幅と前記第2信号の第2振幅とに基づいて前記ヘッドを位置決めする、請求項1に記載の磁気ディスク装置。

**【請求項 7】**

前記第1リードヘッドの前記半径方向の第1幅は、前記第2リードヘッドの前記半径方向の第2幅よりも大きい、請求項2に記載の磁気ディスク装置。

**【請求項 8】**

前記コントローラは、前記第1信号の大きさが変化せず、前記第2信号の大きさが減少した場合、前記半径方向において前記第2リードヘッドから前記第1リードヘッドに向かう第2方向に前記ヘッドをずらす、請求項7に記載の磁気ディスク装置。

**【請求項 9】**

複数のサーボデータを有するディスクと、前記ディスクに対してデータをライトするライトヘッドと、前記ディスクからデータをリードする第1リードヘッド及び第2リードヘッドとを有するヘッドと、を備える磁気ディスク装置に適用されるリード処理方法であつて、

前記ディスクの前記複数のサーボデータの間に位置するライトデータを前記第1リードヘッドでリードした第1信号と前記第1リードヘッドから前記ディスクの半径方向に離間した前記第2リードヘッドで前記ライトデータをリードした第2信号とに基づいて前記ヘッドを位置決めする、リード処理方法。